

# YZF-R7 OW-02

1999年/限定市販車

1998年に登場したYZF-R1は、当時の1000ccクラスに類を見ない軽量でコンパクトなスーパースポーツを目指すため、基本設計をゼロから構想した。それを基に、既存のレーサーレプリカモデルと一線を画するオリジナリティに富んだデザインが創造された。

その後同じデザインの系統で、サーキット走行を意識した、排気量599ccのYZF-R6が1999年に市販される。

YZF-R7は750ccのエンジンを搭載し、世界スーパーバイク選手権に参戦することを目的として、世界限定500台が生産されたホモロゲーションモデル。車体の外観はR1の印象に近いが、小型のプロジェクターヘッドランプを採用することで、よりコンパクトで精悍なデザインのフロントカウルまわりとなっている。また、クイックファスナーの採用で、レース時のカウルの取り外しが容易になっている構造や、大容量のアルミ製燃料タンクの採用、個々の車体構成部品の高機能化などにより、細部に亘りシリアスな機能美が表現されている。

